

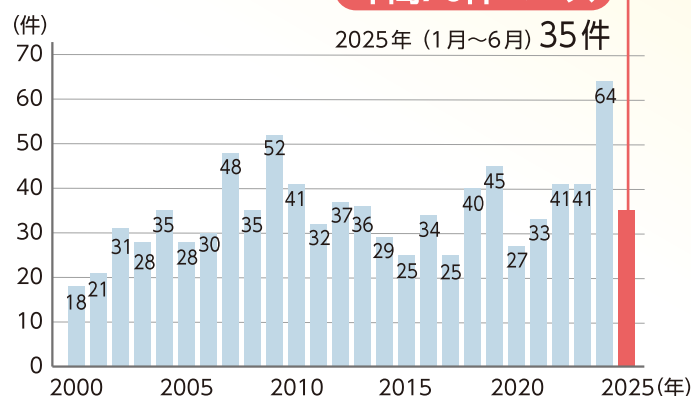
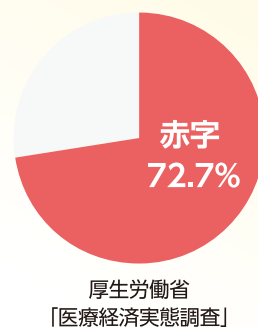
国による地域医療の破壊を許さず 京都府の役割発揮を

国の医療抑制政策の結果、京都市内でも、バプテスト病院のNICU廃止・分娩休止や京都新町病院の廃院など医療崩壊が深刻です。また「現役世代の保険料引き下げ」を理由に、花粉症薬等のOTC類似薬保険適用外しや高齢者負担2割化、国保料値上げなどが狙われ、多くの府民の負担増が予測されます。

しかし府は、このような国の「旗振り役」として病床削減を進め、府民へ具体的な医療・介護ニーズ調査も行いません。負担増も「国への要望」に留めるなど、府民の命に背を向ける消極的な姿勢に終始しています。

医療機関の倒産件数推移

年間70件ペース

2024年度一般病院の
7割超が赤字厚生労働省
「医療経済実態調査」

子育て世代への経済的支援を 18歳までの子ども医療費無償化をただちに

京都府の合計特殊出生率が1.05、京都市は1.01と過去最低です。

ところが京都府の施策は「子育てしたくなる」風土づくりばかりです。府内自治体の多くは独自に18歳までの子ども医療費助成を実施していますが、京都市は府内唯一、府の水準である小学校卒業までに留まっ

ています。京都市内の子育て世代の近隣市町への流出も深刻です。

青森県では、市町村へ子育て支援交付金を実施し、県内全自治体で学校給食無償化と18歳までの子どもの医療費無償化が実現しています。子育て世代への経済的支援を抜本的に拡充することが必要です。

大幅賃上げ実現へ 中小企業へ直接的支援を

中小企業の休廃業・解散が2年連続の増加、ギリギリの状況にある中小企業が持続的に賃上げできるようにするためにも直接支援が求められています。すでに実施をしている岩手県、群馬県、茨城県などで賃上げの大きな効果が確認されています。



島田けい子(京都市右京区)

議員団長、危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



みつなが敦彦(京都市左京区)

議員団幹事長、農商工労働常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



浜田よしゆき(京都市北区)

議員団副団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



さこ祐仁(京都市上京区)

農商工労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



成宮まり子(京都市西京区)

文化生活・教育常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会



ばばこうへい(京都市伏見区)

政策環境建設常任委員会、子育て環境の充実に関する特別委員会



水谷修(宇治市・久御山町)

政策環境建設常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



森よしはる(京都市南区)

総務・警察常任委員会、子育て環境の充実に関する特別委員会



田中ふじこ(京都市中京区)

危機管理・健康福祉常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会